

2023(令和5)年度 柘植小学校マニフェスト

校長 松本 徹

【学校教育目標】

子どもたちの社会的自立をめざす「進路保障」の創造

～「誰一人取り残さない」教育を推進し、確かな学力を身につけた子どもの育成をめざして～

【めざす子ども像】

自分の考えをもち、これからの社会をたくましく生き抜こうとする子ども

<なかまづくり・学級集団づくり>

○くらしの交流や文化的・生産的な活動をとおして、なかまとのつながりを深めようとする子ども

<リテラシーの力> (学力)

○教科の学力を高め、情報を正しく活用し、確かな判断力をもとに問題を解決していこうとする子ども

<エンパワメントの力> (人権)

○自分のくらしを見つめ、自分をとりまく人々の願いを受け止め、生活を高めていこうとする子ども

<キャリアビジョンの力> (キャリア)

○多様なモデルとの出会いや体験活動を通して、自分の将来を思い描こうとする子ども

【重点目標】

<リテラシーの力> (学力)

- 「授業がわかりやすい」子ども 85%以上をめざします。
- 基礎・基本の学習を徹底し、最後までやり切らせる指導をします。
- 「自分の考えをもてるようになった」と言える子ども 85%以上をめざします。
- 「本を読むのが好き」な子ども 85%以上をめざします。

<エンパワメントの力> (人権)

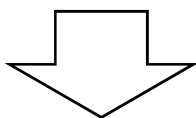
- 身の回りの不合理・矛盾や人権問題に対して、考え、行動できる子ども 80%以上をめざします。
- 自己肯定感を育む教育を推進し、「自分にはいいところがある」と言える子ども 80%以上をめざします。

<キャリアビジョンの力> (キャリア)

- 働くことへの見方を深める出会いや体験活動に取り組めます。
- あいさつや敬語の使い方等の力を育み、しっかりとあいさつできる子ども 85%以上をめざします。
- 「自分の将来ががんばりたいこと」を言える子ども 80%以上をめざします。
- 日常生活の中で、自分にできることを見つけて行動することができる子ども 80%以上をめざします。

<なかまづくり・学級集団づくり>

- 子どものくらしや子どもたちの集団の様子が見える一枚文集を、週2回年間70号以上発行します。
- 子どもがワクワクする文化的・生産的な自主活動や自治活動に取り組めます。



「人権尊重の学校づくり」

「学校へ行くのが楽しい」子ども 90%以上をめざします。

「働きやすい職場環境づくり」

- 「組織の一員としての自分を意識して学校づくりに参画した」と言える教職員 90%以上をめざします。
- 働き方改革への意識を高めた教職員 70%以上をめざします。